

令和4年度第4回静内警察署協議会議事概要

第1 開催日時

令和5年3月13日（月）午後1時30分から午後2時45分までの間

第2 開催場所

札幌方面静内警察署 会議室

第3 出席者

1 協議会委員（6人）

協議会会長	寶 金 信 枝	
委員	藤 沢 一 雄	竹 内 幸 子
	戸 澤 ひとみ	徳 橋 かおる
	山 田 久 磨	

2 警察署職員（5人）

警察署長	佐々木 博 信
副署長	赤 間 伸 次
警務課長	渡 辺 昭 一
刑事・生活安全課長	岡 本 伸
地域課長	近 藤 謙 作

第4 開催状況

1 署長挨拶

令和5年の北海道警察の運営重点は、基本理念「犯罪や事故のない安心して暮らせる北海道の実現」、活動指針「道民とともに 道民のために ～強く 正しく 誠実に～」、重点目標として8項目を掲げて取り組んでいます。

本日は、重点目標の1つである、「子供、女性、高齢者等の犯罪被害防止」について取り上げ、最新の情勢や取組状況を中心に説明させていただき、ご忌憚のない意見を賜りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

2 会長挨拶

今期最後の警察署協議会となりました。
警察署の体制が変わる前のこの時期を選び、開催させていただきました。
本日も忌憚のない意見をよろしくお願いいたします。

3 業務説明

平成5年1月から3月までの活動状況

4 諮問事項

(1) テーマ

子供、女性、高齢者等の犯罪被害防止対策

(2) 警察からの説明

静内警察署における子供、女性、高齢者等の犯罪被害防止取組状況

(3) 協議

ア 委員

自治体運営の高齢者施設で働いているが、先日の学校や役場施設へのファックスによる爆破予告の時に、役場から連絡があり施設の外回りなどを見回りをしました。

それでも不安でいたのですが、その日は管轄の交番がミニ広報紙を持ってきてくれる日で、パトカーが立ち寄ってくれたので安心しました。

イ 委員

地元の学校にも直接ファックスが入り、管轄の警察官が巡回してくれたりしました。

父兄としては、学校への送り迎えなどして被害防止に努めました。

ウ 委員

町内の見守り隊に入り活動していますが、子供にはあいさつなどの声掛けをするようにしています。

また、自治会と連携して、長期にカーテンが閉まっている等の安否の確認が必要な単身高齢者宅の把握に努めています。

エ 委員

インターネットで、子供が知らない人に腕を掴まれたりした場合に咄嗟に大きな声を出す訓練をしている動画を見ましたが、何かあった時に声を上げさせる訓練をすることも必要かと思いました。

オ 委員

さきほど静内警察署からの説明を聞いて、女性・子供・高齢者が被害となる犯罪が身近に起きていることがわかり、このことを広く地域の人に知ってもらえれば緊張感を持つことができ、犯罪被害防止につながるのではないかと感じました。

民生委員をしていますが高齢者対策として、民生委員が各自治会に名前と連絡先を伝え、自治会班長がおかしいと思ったことは民生委員に連絡をもらい、連携して対応していくよう取り組んでいます。

警察は事件を予防するために地域のことを知ってもらうことが必要であり、そのために自治会、民生委員等と連携していくことも大事だと思います。

私の管轄の駐在所の方々は歩いて巡回したり、高齢者会合に来てくれるなど地域の人々と顔見知りになることに力を入れているように感じ、親しみのある警察官というイメージが高まっています。

カ 委員

交通違反も犯罪もパトカーが巡回することで抑止力につながると思いますので、引き続きお願いします。

キ 委員

アポ電がニュースで大きく取り上げられています、静内警察署管内でもそういう電話が掛かってきているのでしょうか。

ク 警察

当署管内でそのような電話を受けたという届出は受けておりません。

キ 委員

インターネットをつかった犯罪もゲームでつながることから、犯罪に巻き込まれやすいと聞きます。

未然に防げくためには子供たちにも危険性を理解させることが大切だと思います。

ケ 委員

先日、SNSの講習会に出席したのですが、参加者の多くは高齢者でした。

SNSを使った犯罪を防止するには、もっと若い世代を対象にした方が効果があると感じました。

コ 警察

本日、委員の皆様からの頂いたご意見は、今後の活動の参考とさせていただきます。

第5 次回開催予定
令和5年6月中を予定

第6 閉会

令和 年 月 日

㊞

令和 年 月 日

㊞